常磐毎日新聞
十一月十九日夕刊
定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 郵送料共
廣告料普通一行五拾錢 場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠一
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京 四〇二一〇番

躍進・東北一の大内郷村
人口三萬突破
遙かに平町を尻目に
一兩年後四、五萬臺實現か

内郷村では十月末現在の村内戸數並に人口調査を行ひこの程集計なり別項の如き驚異的人口增加の躍進振を發表、總人口三萬二千六百六十六人の大世帶で裕に人口三萬を突破した東北一の大村となり遂に郡下の大都市

平町は 輕々と人口に於て蹴落され縣下では郡山、福島、若松の三大都市に次いで第四位となり〝炭礦村〟として堂々たる實勢を示すに至つた殊に村内の磐城炭礦並に入山採炭川平坑その他中小二十有餘の炭礦は軍需景氣に煽られて躍進を續け各礦共從業員募集に

大童べ になつてゐるので一兩年後には三萬五千の人口を有することは左程困難ではないものゝ如く觀測されてゐる

たゞ移動性に富んでる炭礦勞働者を過半占めてる同村としては炭礦に萬一秋風が襲つた場合俄かに人口減を來すおそれあることは明かであるが目下のところでは炭礦は好況の波に乘つて飛躍し大擴張中にあるので增すとも減るやうなことは殆ど豫想されぬことである

町制施行は以ての外
飽くまで村で存在
特殊な立場を强調

驚異の躍進振りに關し今後の同村の動向を沼田同村長に聽けば

人口三萬を突破したので一部から町制でも施行しては……との話も

あるがわが内郷村は炭礦村として特殊な立場にあるので町制施行などゝいふことは全然考慮してない、内郷村は人口が更に倍加し五萬六萬となつても依然『村』として存在し、われ〳〵もまた村のため盡す考へである云々

三萬超過
十月末現在

内郷村では十月末現在による戸數並に人口調査を行つたがやうやく集計が纏まり十七日左の如く發表した

戸數	六四七四戸
人口 男	一六七九二人
女	一五八七四人
計	三二六六六人

濱三郡の教員畫展を見る（四）
平第二校長　千葉右近

海野君の作品と並んで會場に君臨する如く展覽されてあつたのが、鈴木定光君（平第三校）の『少女』である。昨年君は四倉校にあつて一黨を組織して、第四區畫壇の重鎭をなして居たのであるが今年平第三校に榮轉されて、益々精進の歩を進め得たことを喜ぶ。柔い、色感のよい作品で、味のあるものであつた。續いて平第二校の橋校君、君は一點は一點毎に進境を開拓して行くやうだ。今度のなど色彩も豊かであるし、そのタッチも精氣があつてよい作品である。只空と右の方にある樹木に問題が殘つてゐる樣である君の水彩畫盆踊りは海野君と並んで鄕土を出發點とした作品で、盆踊りの雰圍氣で味はれた。特に遠方に踊る人々と空間の味がよいと思つた。

渡邊三平君、君は平第二校の首席訓導である。『ぎくろ』『坂道』の二點八號が出品して、兎角若い者が滥り勝ちな會に先鞭をつけてくれてゐること、石城地方は三年ぶりの豊作に惠まれ農村は至るところ明朗な氣分が横溢してゐるが、此の半面に飯米に次ぐ生活の必需品である木炭が皮肉にも曾つて見ない大暴騰を示し昨今は普通相場の二三割方高く奔騰し、ナラ丸四貫

寒さに向つて
木炭が大暴騰
一般町家から悲鳴
普通相場から二三割高

次から水彩畫の壁面に移る。内郷尋常高等小學校の草野五朗君、君は磐中の先輩者であり、永年同中學校の圖畫手工の教師として快腕を振つて來た人で、今では功成り名遂げて鄕里に歸り奉仕的に内郷小學校に教鞭を取つて居るので、君の如き人物を得た内郷校こそ此の上もない幸福と言はねばならぬ。從つて君の作品に對し見や角申上げるの失禮は承知して居るが一言感想を述べさして戴きたい。

君の水彩は又一種獨得な眞面白さがある。極めてよく見、よく努力した作品のみで實にいゝ。高原の遲山、暮色に迫る山脈等から新潟郊外の『橋』『バラ』『海岸』何れもいゝ

兩縣を股にかけ
空巢專問の怪盜
鄕里小名濱に潛伏中
平署員が逮捕

小名濱町中坪生れ當時住所不定無職窃盗前科一犯金成繁（三二）は昨十八日平署に檢挙されたが同人は去る八月二十一日小田原刑務所出所以來茨城縣助川町に入り込み同町宮瀧音吉方留守宅に忍び入り現金七十餘圓を窃取した外勿來町小學校職員室その他から二百圓の空巢專門の窃盗を働へたこと發覺逮捕されたもので他にも餘罪多數ある見込で追求中

辯論會
入賞者

既報、平鐵道倶樂部主催の辯論大會は十七日午後二時から同倶樂部で催されたが出演者十餘名中入賞者は左の如く終つて山崎平驛長の講評を乘ねる『辯論の力』同驛平町會議員猪狩觀德氏の『心眼』

洋食組合
役員改選

入一俵八十五錢のものが一圓を唱へてゐるのでは果然一般町家から悲鳴があがつて居る

平西洋料理組合では十六日午後六時から谷口樓で定時總會を開き役員改選の結果左の如く決定した

組合長高橋武　副組合長高崎松二　會計半谷喜長　幹事並教養係箕輪爲吉　同三浦彦一　幹事並健康會係齊藤傳兵衛

冬ともなれば……
斯くも云ひたいデス
繁昌する毛糸屋さん

今年は毛糸が二三割も高い、日本と滿洲との貿易交渉のいざこざからだうだが相當に高くなつたその深刻さを秘めてか、人心が

落着 いて來たのか至然的に絲も積み重ね方をやつてゐる

澁いもの、茶も澁い澁いもの、何色に限らず落着いたものが好まれてゐるやうだ。いはずもがな、今は毛糸屋さんの賣出し時期で、とつても景氣いゝ、毛糸の束のならべ方

茨城縣人會 在平茨城縣人會は來る二十七日午後六時から平町谷口樓に開く

チブス禍の
好間で映畫會

昨報の如くチブス禍の好間村では益々蔓延の惨あるため村民は戦々恐々としてゐるのに鑑み同村古河好間鑛業所では防疫思想喚起を圖り昨十八日午后六時から上好間字小舘地内で左記の如きチブス豫防映畫會を開き同坑從業員並に一般村民に觀賞させた

△長星驛動記三卷
△日活作品『劍』七卷

綴高野線の
改修陳情

監督所繁忙

綴—高野線は過般縣道編入以來車馬、トラック等の交通量增加して來たが以前として道路、橋梁等不備の箇所あり不便を極めるため昨十八日午後沼田内郷村長外三名平土木監督所にこれが至急調査の上現在同村の豫算百餘圓を基調として改修方陳情した

植田間明線
これも陳情

植山—間明線、田人、山田兩村境鮫川に架かる井戸澤橋は吊橋で危險多くさきにはトラックが墜落する等の慘事が生起してゐるため縣道編入になつた折柄是非共架替されたと題する演說があつた

△一等魂の故郷横山久芳君（檢車區檢車係）△二等非常時に於ける國鐵青年の覺悟金賀敏彦君（同區同）△三等吾等鐵道從事員の使命と娯樂佐藤定男（驛案內係）

〝毆りました〟
亂暴男の標本
買ひに來た客に傷害

昨報、隣人の貯金通帳を盗み出し金額三十五圓を拂戻して洋服代や活動見物に消費して平署に檢擧された内郷村綴目屋業虎吉二男沼田二三男（五）—何れも假名—は共犯關係に就いて取調べた處同字佐藤鐵二（八）惡の仲間が潛在、同人等は常に共謀して炭礦地帶からコソ泥數件を働へたことも自白したが今回の犯罪は最初二三男が通帳を盗み出し佐藤が湯本局から拂下げ半分宛に分配したこと判明、兩名は取調べの警官も度數を忘れる程頻繁に擧げられてゐる札付きの不良兒である

係官も呆れ返る
警察署——自宅
頻繁に往來の不良兒
拂下げ少年後報

思想犯保護觀察法は愈々明二十日から實施されるが平町盛槌小路辯護士元檢事武田清治郎氏は今十九日縣下委員二名の一人に任命された、同委員は宮城保護觀察所に屬し思想犯の保護及び職業指導の諸問機關として設置されたもの、同氏が永年の間平自營會常任理事として努力した其功が酬ひられ選任されたもので氏は新潟縣人三十年間に亘る判檢事生活を終け平區の上席檢事を最後に辭し辯護士を開業極めて溫厚な人である

思想犯觀察委員
武田氏任命（平町）

いと十七日小松縣議等が平土木監督所に陳情する處あつた

手編 が年一年流行つて來た故で毛糸屋さんはホク〳〵、私の店からお買ひになつた方へは新らしい編方をたゞで教へてあげますと東京あたりから講師○○女史を聘して來て婦人雜誌の附錄を壓倒してゐる店もある、日本人は同じ緯度でも

土地 が第一外國より寒いし、住宅も冬季どうしてか寒い樣に構造が出來てゐる、

▼……▲

婦人に最似て薄ツぺらな布のスカートをする必要はない、お腰を冷さないやうにスカートも毛糸で編めと近ごろ挨拶より

創造 を示した新說が擡頭して來た、殊に平地方の御婦人方、どうです、この新說に一脈贊成するところがあつては……、編方で相當スマートなスカートも出來るさうですよ。

▼……▲

何も外國人に最似て薄ツぺらな布のスカートをする必要はない、お腰を冷さないやうにスカートも毛糸で編めと近ごろ挨拶より

御同樣の無茶男
傷害で罪金三十圓

既報磐崎村大字上湯長谷字梅ケ平七一農齊藤善兵衛（三三）がお月見樣の梨を盗んだとて近所の子供吉原久三（三三）君を引捕へ自宅の梨へ逆に吊し下げ下駄で實折檻重傷を與へた事件は相手が子供の仕業だけに各方面から注目されてゐたが今十九日平區櫻井檢事取調べの上傷害罪として訴直ちに野木判事から略式罰金三十圓に處された

無軌道二題

湯本町榮田八一高木茂（四）は十一日午前五時頃自宅で磐崎村湯長谷野菜行商人谷口力次郎（四三）を歐打全治二週間の傷害罪で平署で目下取調べ中であるが高木は以前谷口に梨二貫匁を賣却した際匁方五十匁をごまかし谷口の感情を害してゐた處同日たま〳〵谷口が再び高木方に買ひに行つた際高木が品物にけちを付ける奴には賣れぬと云つたことから口論になり喧嘩になつたもの

平署管下消防
秋季檢閲日割

平署管内秋季消防檢閲は左記日割で施行される

△十一月二十八日箕輪△十二月一日小名濱△同平△三日三阪△四日澤渡△五日永戸△同平窪△同鹿島△六日内郷△七日好間△九日玉川△十二日神谷△同飯野△十三日湯本△同江名△一日豊間△六日磐崎△同赤井△同上下小川

交附金
費途說明

昨報、臨時町村財政交附金劃當に關し本十九日縣地方課の會田屬が來郡、午前十時から平國休事務所に關係町村長を招きこれが費途について說明、明二十日は小名濱町で郡南方部關係町村長に同樣說明する

電柱移轉
敷地委員會

平第四小學校敷地委員會は廿一日開會、磐炭その電柱移轉交渉に關して協議すると

前借詐欺の
告訴取下

例の目見得事件

既報、平町新田町藝妓置屋湖月からまゝまと大枚千二百圓の前借詐欺を働へた群馬縣太田町三丁目料理業彦太郎長女田中壽植子（三）は平署で身柄留置取調べ中であつたが昨十八日若い霧枝子の將來を憂慮した同女の親戚一同が漸く前記の大金を調達同縣韮川村の板橋富四郎氏を介して辯濟したので告訴を取下げられ圓滿解決した

榮種栽培に
早期定植
極力奬勵中

郡下の榮種産額は今や縣下の王座を占むるに至つて居るがその栽培が主に水田利用の二毛作であるが爲め各地に比較して一般に刈取りの遲い關係から榮種の播種から假植、定植等何れも遲くなり收獲期に於て少からず收量減を來して居るので農試分場や郡農會では目下盛んに早期定植をすゝめて居る

ラジオ

JOHK

今晚の部

▼後六、〇〇 連續漫畫劇 忠子のいたづら日記「十一月の巻」チュウ〳〵座『桃谷中繼』
▼後六、二五 農家の時間「農作と農家 有働良夫」
▼後七、三〇 講演「關門トンネルは如何にして掘られるか」釘宮磐
▼後八、〇〇 一茶を偲びて「明專寺の晩鐘」小林彌太郎他
▼後八、二〇 琵琶「ある日の一茶」田中旭嶺
▼後八、三五 落語「景清」柱文治
▼後八、五〇 獨唱及び合唱と管絃樂 武藏野音樂學校…日比谷公會堂中繼
▼後九、三〇 時報 ニュース 明日の話題 氣象通報 番組豫告

明日の部

▼後六、〇〇 家庭講座 季節の漬物「澤庵の漬け方」琴坂幸太郎
▼前一、〇〇 職業野球 名古屋甲子園リーグ 對金鯱 セ軍對タ軍…甲子園球場中繼
▼後〇、〇五 講曲「竹生島石」浦與吉他
▼後〇、三〇 國民歌謠 內田榮一他…桃谷中繼
▼後二、〇〇 婦人の時間「寒さに向つての姙娠婦の心得」竹內茂代
▼後二、四〇 小學生尋六高二の時間 お話「ヨーロッパの旅」內田寛一
▼後三、一〇 教師の時間「最近の我が貿易と產業」段野忠次 お話「櫻島大根」安齋眞
▼後六、〇〇 生活改善座談會「外國人に對する作法」柳澤健他
▼後八、一〇 管絃樂「通俗名曲定期演奏」日響
▼後八、三〇 落語「禁酒番屋」三笑亭可樂
▼後八、五〇 小唄 堀小奈良
▼後九、〇〇 映畫劇「荒城の月」松竹大船連

白柄劍風連
大島多慶夫作
井川洗涯畫
布施長春畫
村瀨春映畫

（鮮上映上演戲）

……一五……

やなぎ風呂（一）

白柄組一黨のもの共が、我家へ歸へるなかつたのやうに行つたのは、淀川不動前に新しく出來た『やなぎ風呂』であつた。

淀屋のお嬢は、いつの間にか、やなぎ風呂から聽やかな笛を聞したが、またお樂に驚れた女お樂といふのが現れて、既に敵者の旗本や町奴に惑を流させた。

このお樂のことから、まづ最初に町奴の惱を聞いたのは、五右衛門の親分で、白柄組風一の乘男である與平衛門であつた。一體お樂は淀屋の淀屋敷であつた『やなぎ風呂』の發起であつたが白柄組の威勢から聽ない

て、この『やなぎ風呂』の番が出來たのは、五左衛門が町奴の遊び場と知知の上で、たゞ一人遊びに行つたとき、このお樂と聽を合はせて、双方から初會祭の祝となつたのだつた。この時既に五左衛門と町奴との間に喧嘩が起り吹いた。けれども、勝の出てゐる町奴の元締風呂の長兵衛が來合せて『まあ〳〵待て待て。何と云つても鄕手は旗本だ。白柄組の聽々が女風呂のことから聽嘩を吹つかけたと云つては町奴の名折れになる、我慢をしろ。堪忍のしどころは聽ういふ場合だ』と、無理に聽く中合の掛錦めて、何ごともなしに濟んだ。

長兵衛が初め、町奴の喧嘩樣である長大權兵衛でも、金銭の、五左衛門と町奴の遊び場と知知の上で、たゞ一人遊びに行つたとき、このお樂と聽を合はせて、双方から初會祭の祝となつたのだつた。この時既に五左衛門と町奴との間に喧嘩が起り吹いた。けれども、勝の出てゐる町奴の元締風呂の長兵衛が來合せて『まあ〳〵待て待て。何と云つても鄕手は旗本だ。白柄組の聽々が女風呂のことから聽嘩を吹つかけたと云つては町奴の名折れになる、我慢をしろ。堪忍のしどころは聽ういふ場合だ』と、無理に聽く中合の掛錦めて、何ごともなしに濟んだ。

長兵衛が初め、町奴の喧嘩樣である長大權兵衛でも、金銭の、

既報、五左衛門が町奴の遊び場と知知の上で、たゞ一人遊びに行つたとき、このお樂と聽を合はせて、双方から初會祭の祝となつたのだつた。この時既に五左衛門と町奴との間に喧嘩が起り吹いた。けれども、勝の出てゐる町奴の元締風呂の長兵衛が來合せて『まあ〳〵待て待て。何と云つても鄕手は旗本だ。白柄組の聽々が女風呂のことから聽嘩を吹つかけたと云つては町奴の名折れになる、我慢をしろ。堪忍のしどころは聽ういふ場合だ』と、無理に聽く中合の掛錦めて、何ごともなしに濟んだ。

長兵衛が初め、町奴の喧嘩樣である長大權兵衛でも、金銭の、

マネシ
19日替り

家庭と婦人

『茶の間』は家中で一番大切なところ

南向きで風通しよく 便利な設備が好ましい

家内中心の新提唱

日本住宅にある茶の間といふものは、文字通りお茶の部屋でそこでお茶をわかしたものであり、即ち清時代の茶の間が中心になして使られてるました、しかし現在では茶の間にかならずしもお茶をわかす部屋でないばかりか、いはゆる茶の間の機能さえ変化した部屋として使はれる位置を持つて来てゐます——利用するといふ点から見れば、茶の間は最も多く利用される部屋です。だから茶の間は住宅のうちで一番重要な位置に設けねばなりません、部屋がゆるすかぎり南向きで日当りよく衛生的な場所であると共に、最も出入に便利な場所でなければなりません、茶の間のやうに、家族の団欒室、客室兼ねたる茶の間が風通しのわるい、日当りの悪い場所にあり、その反面に設多に使はない

客間

が二番目に便利な場所にあるのは、全く「主客顛倒」にもはなはだしい話です、家を建てる時は家の中心たる茶の間を最初に考へます、家を借りる時は、茶の間が家の主要部にあるかどうかを最初に考へます、その茶の間の広さは人数によつてきまるわけですが、夫婦に老人に子供二人位の家族ならば八畳が適当です、しかし茶の間は十畳まで、十二畳となるともういけません、広すぎて落ちつけないからです、この意味で茶の間の天井をあまり高くするのも、冬は寒々としていけません、それに茶の間はやつぱり茶の間ですから茶間式に一間の床をつけるよりも、くだものなり鉢植物なりを飾せる棚とか、小物をいれる整理棚を

設け

るが合理的です、要するに見てくれの形式美よりも、実用的で便利であることが生命なのですから、この戸出入口の三尺（一間の引ちがひ）はせまいです、食器を乗せたまゝの大きい食卓を出し入れするのに不便です、出入口は七尺か七尺五寸にとれば唐紙の引ちがひとすれば、三尺五寸あるひは三尺七寸五分に使へます、それからこれは家を建てる場合ですが、私がもつとも理想的だと考へてゐる茶の間の設計をお話しませう、それは要するに団欒室と食堂とを和洋折衷の場所にする方法です、時ちいはゆる洋式の茶の間に隣接した部屋は、茶の間より七寸程床をおとして板敷とし、格子式食堂とします、そしてその廊下の部屋のあひだを唐紙にしておけば茶の間にすわつた時の眼の高さに食堂に腰かけた時の眼の高さに甚だしい差がなく、間敷（間の唐紙）をとつて、若い人は格子で、老人はすわつて腰掛の部屋で一度に食事をしても、すこしも変テコな感じがしません、それは二つといへば二つの部屋だし一つといへば一つの部屋なのです、これは古い家を改造するときにところみても効合能能に出来ます

（建築家吉田五十八氏談）

高さ

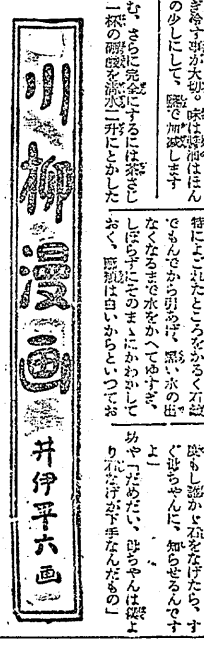
汗れた絹物の丸洗ひは斯うして

秋になつて、汗じみた外衣類の急度慶敬から冬物のあらひ張りまで、主婦は毎日手一杯に仕事がある、手近い汗もの丸洗ひとしては外出してかへつたらすぐ着物をぬいで衣紋かけにかけ局部に風をふくか、ぬれ手拭でたゝくかするだけでも汗染はあとにのこらずにすむ、さらに完全にするには茶さじ一杯の硼酸を温水二升にとかしたなかに絹二十分ひたして予す、また洗ほこりでよごれた絹物を丸あらひしたいとおもつたら、本温水にたゝんだまゝ、たらひにいれ温水をたつぷりかぶる位にし、日向に出し三時間位おいて、そり口などと様にとれたところをかるく石鹸でもんでから引ぬげ、黒い水の出なくなるまで水をかへてゆすぎ、しぼらずにそのまゝにかわかしておく、硼酸は白いからといつておいたのを使はぬ様に、

御存じ？

◎青い物を青く煮るコツ

いきなりにてもは色が褪せます。矢無鍋め鍋を入れた湯で色よくゆでゝおき、それを味加減した汁の資たつた鍋へいれてにます。資上つたら鍋いで皿にとつてあふぎ冷す事が大切。味は醤油はほんの少しにして、醤油で加減します



笑話

◎木遊戯客

母親「泣くんぢやありません。今度もし泣かせなければ、すぐ坊ちやんに、知らせるんですよ」

子「だめだい、坊ちやんは僕よりもなげが手なんだもの」

中年肥りの人は運動するがよい

一寸した買ひ物などには出来るだけ歩く事

醫學博士 田邊良一氏談

社会

家庭等で働くする婦人が少い、これ等もふるい風俗となるのです、この中年肥満に対して防がうとするなら閉経期ごろになつて、脂肪が少くなつたり和らいになつたり、脂肪の燃焼に作用します、家庭において此の脂肪を防止するには脂肪の少い食物をとり又運動をとゝのへる、家事を自らやる、ちよつとした買物位は歩いて行くと云つた工合に筋肉運動をし、また風呂、洗濯、掃除ホルモンから造られた薬を注射せて来ます。性ホルモンや卵巣ホルモンといふものも同じ様